

20m09HO提出課題例

小テスト解答例

1 電子黒板において注目される機能を、「興味」以外に3つ挙げよ。
最後に、このテーマについて、自分の意見を述べよ。

↓

- ・板書内容のスキャナ機能、プリント出力機能
- ・プロジェクト出力機能、タッチパネル機能、保存機能
- ・上記の機能を、同時に複合させる機能↓

↓

↓

2 次の空欄を埋めよ。↓

最後に、このテーマについて、自分の意見を述べよ。↓

アプロブリエーションとしての学びは、第1に、単なる(① 模倣)ではなく、自分の(② 文脈)に合わせた形で取り組まれてゆくということである。その場合、「〇〇さんは△△といましたが、私はそれにつけ足して、□□と考えました」という(③ 間接話法)による表現になることが多い。これによって、単なる(④ 引用)で終わるのではなく、他者の考えをめぐって自分の(⑤ 判断)や意見の(⑥ 交流)が行われることになる。↓

第2にそれと関わって、他者の言葉を(⑦ 受容的)に取り入れるのではなくて、時として(⑧ 批判)や反論の(⑨ 対象)として、「自己の言葉と(⑩ 対抗)する言葉」として取り込まれることもある。↓

↓

↓

3 「形成的評価の機能」について、簡潔に説明せよ。↓

最後に、このテーマについて、自分の意見を述べよ。↓

↓

授業の過程で実施されるもので、授業にフィードバックされ、授業がねらい通りに展開していないと判断された場合には授業計画の修正や子どもたちへの回復指導が行われる。成績付けに直結させるものではない↓

↓

4 「学校スタイルとしてのオープンスクール」について、簡潔に説明せよ。↓

最後に、このテーマについて、自分の意見を述べよ。↓

↓

壁で仕切られた伝統的な教室では不向きな、自分の関心やペースに合わせた学習、弾力的なグループ編成、自主的な学習計画に基づく活動、異学級・異学年との交流などを促進するために、ワークスペース型、ラーニングセンター型、特別教室型の3タイプのオープンスペースを設定している学校のことをいう。↓

↓

↓

5 第5回から第8回目までに取り上げられたICT活用教育について、取り組んでみたいと思った内容の概要と、その理由について述べよ。↓

最後に、このテーマについて、自分の意見を述べよ。↓

↓

それなりの取組を記述してあればよい。↓

↓

学習をめぐる3つの理論

教育方法論 m 第9回

テーマ「学習をめぐる3つの理論」

3班

(1) 「新しい時代の教育方法」から

教育心理学の視点では、学習で「変化」する内容について、3つの学習理論が提起されてきている。これらの違いは、学習より長期的で、経験だけには依存しない発達の捉え方にも反映されている。

- ・連合説：外的刺激と外的反応の間に連合(新しい結びつき)が形成されること＝学習
- ・認知説：主体が外的環境をとらえるための認知構造(内的な枠組み)の変化＝学習
- ・状況理論：集団が行う実践に対する個人の参加の仕方の変化＝学習
- ・発達論：認知構造の段階的・質的变化を想定。

認知的諸機能の連続的な変化や、それを生起させる要因としての行動の反復を重視する。

(2) ネット資料「教育心理学における学習の概念」から

行動主義的な学習に関する事項を扱っているテキストが多い。この背景にはアカデミックな心理学の学派对立があった。(ちなみに、本テキストは少数派にあたる。)

- ・行動主義：どんな刺激を与えればどんな反応をするか(＝連合説)
- ・多くのテキストには、「学習＝経験による比較的永続的な行動の変容」とある。
- ・記憶、理解、知識獲得といった認知心理学的な学習とは分断されている。
- ・如何にして伝統的な学習観(行動主義 only)とより日常的な学習観をすり合わせるのか向き合うべき。

(3) ネット資料「発達の段階に応じた「基礎的・汎用的能力」の考え方」から

発達は学習と関連性を持っており、そのプロセスは個々人で異なることから、支援の際は、個々人に注目することが重要となる。

- ・心理学・教育学の言葉としての発達：個人が時間経過に伴ってその身体的・精神的機能を変えていく過程であり、成長と学習を要因として展開される。
- ・発達は年齢と学習の相互作用によって起こる現象。
- ・連続的に進行・蓄積され、徐々に変化する側面がある一方で、連続性のない革新的な変化も起こり、その両者が機能して発達は促進される。

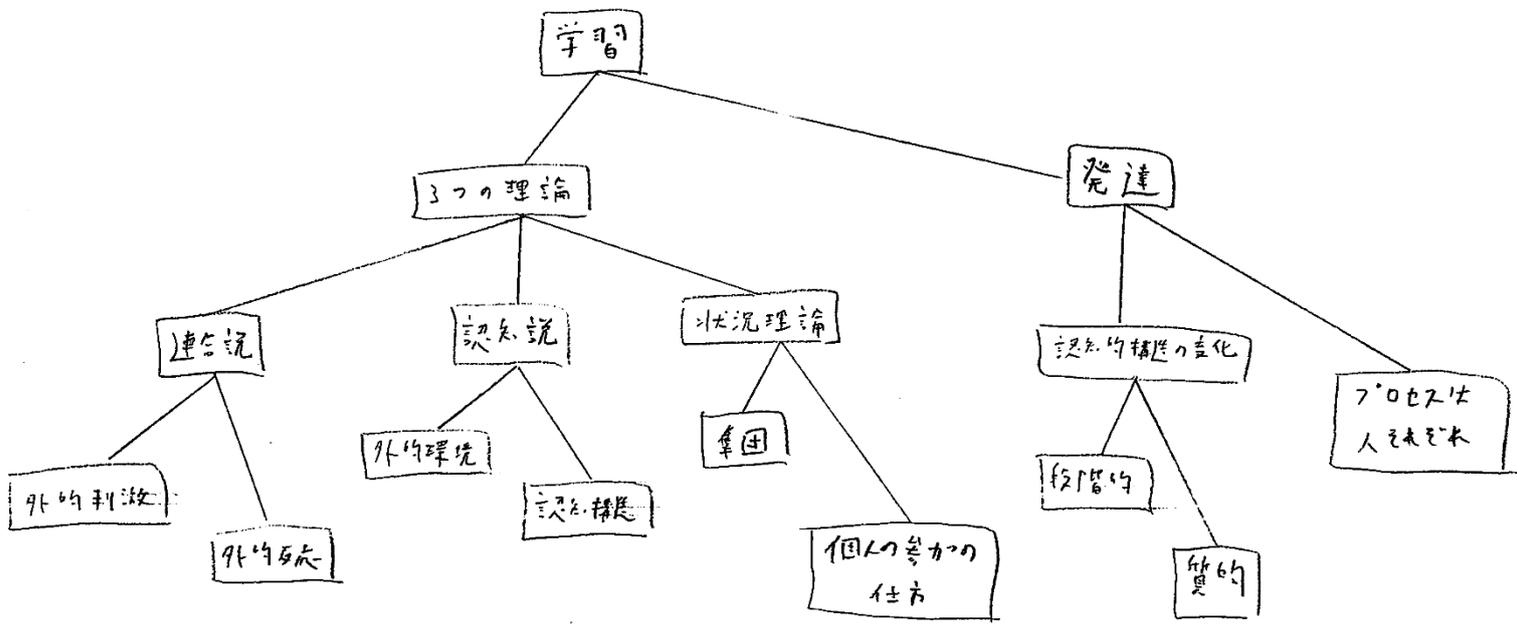
(4) 自分の意見

時代に応じた「学習」の定義を当てはめることが重要と思った。

- ・「学習」とは明確な定義がない曖昧なモノ
- ・学びとの差別化
- ・すぐに教育現場で役立つものを求める→根本については放置されている

(5) 出典(文献名、url等)

- (1) 大芦 治 (2016). 「教育心理学における学習の概念-教職課程で用いられるテキストにおける概念定義」. pp.1-10.(<https://core.ac.uk/download/pdf/96947289.pdf> 2020/11/24 確認)
- (2) 国立教育政策研究所(2010). 「発達の段階に応じた「基礎的・汎用的能力」の考え方」. pp.1-4.(https://www.nier.go.jp/shido/centerhp/22career_shiryou/pdf/5-01.pdf 2020/11/24 確認)



学習理論に基づく学習方法

教育方法論 m 第 9 回 テーマ「学習理論に基づく学習方法」1 班 番号

(1) 「新しい時代の教育方法」から

全体の要点●

学習理論に基づく学習方法として、「プログラム学習」、「発見学習」、「有意味受容学習」の三つ存在する。

ポイント

- 1) 「プログラム学習」には5つの原理が含まれている。
 - ① スローステップの原理 (学習は少しずつ獲得する行動の内容を複雑にする)
 - ② ヒント後退の原理 (最初はヒントを多く与え、後になるほど学習者地震に判断させる)
 - ③ 積極的反応の原理 (学習者は必ず刺激に対して何らかの反応を行う)
 - ④ 即時フィードバックの原理 (その反応に対して生後のフィードバックを与える)
 - ⑤ 自己ペースの原理 (そのような学習を学習者自身のペースで行う)
- 2) 「プログラム学習」が、どのような内容の学習に対して有効性を持ち、限界が見られるか着目する必要がある。
- 3) 「発見学習」は、教師が体系的に知識を伝達するのではなく、学習者が現象を説明できるような科学的説明を主体的に見出していくことを重視する。
- 4) 「有意味受容学習」は教師による説明が中心であるが、子供の持つ知識との関連付けを考慮する「有意味」な学習である。

(2) その他のネット資料から長所・短所

全体の要点●

ポイント

- 1) プログラム学習
 - ① 小さな成功の積み重ねで自信が付く。
 - ② 自分のペースに合わせて学習できる。
 - ③ 学習効率が上がる。
- 2) 発見学習
一般に知識の習得よりは、その背景となる問題解決能力あるいは学習に際しての思考の方法や態度を身につけさせることに力点を置いている。
- 3) 有意味学習
機械的な暗記を強いる学習法ではなく、学習する内容に、意味を持たせて、生徒に考えさせたり、推理させたりするような学習方法。中学生からが有効であるが、効果が見られる分野 (文献によると、化学) がある。

(3) 自分の意見

全体の要点●

学級、目的に適した学習方法を用いる

ポイント

- 1) 学習方法を試して、それぞれに適したものを見つける必要があると考えた。
- 2) 発見学習の仮設実験学習が理科を中心に進められている。
- 3) プログラム学習は、生徒のペースに合わせるため、年間の授業に遅れが生じる。

(4) 出典(文献名、url 等)

(1)新しい時代の教育方法 pp130~132

(2) [プログラム学習とは？スキナーの説いた5つの原理をやさしく解説 - 知育と子どもの教育が3分でわかる | Chiik \(チーク\) マガジン](#)

(3) [発見学習 - Jinkawiki \(bunkyo.ac.jp\)](#)

(4) [The Study of Meaningful Reception Learning - CORE Reader](#)

学習理論に基づいた学習方法

インストラクショナル学習

- 5つの原理 |
- スロースタップの原理
- E+後退の原理
- 積極的応答の原理
- 即時フィードバックの原理
- 自己ペースの原理

＜おん式

発見学習

- 仮説実験学習
- 主として理科
- 科学的説明の
見直し

意味学習

- 生徒の知識との関連付け
- 行野を「選ぶ」

学習における他者の役割

教育方法論 m 第9回

テーマ「学習における他者の役割」 2班

(1) 「新しい時代の教育方法」から

全体の要点●

一般に子どもは、協同過程において個人で解決するよりも高い水準の問題を解決することができるという、「ヴィゴツキーの最近接発達領域」の概念により、学習に対して仲間や教師など他者の果たす役割が明確になっている。

ポイント1) 大人による関わりの場合、大人は「足場かけ」による支援で、子どもが1人ではできなかった問題を独力で解決できるようになる。

2) 大人による支援（作用）の場合、目標を提示したり、目標を達成するための方略に関する議論が多く含まれている。

3) 仲間との関わりの場合、難しい課題の解決への動機づけ、お互いのスキルを模倣し学習、他者へ説明することによる理解の精緻化、理解を向上させる議論への参加 などによって、子どもの理解が深まる。（又は、問題解決できる水準が高まる。）

4) どの教科でも、知的性格をそのまま保って発達のどの段階でも効果的に教えることができる（8歳で因数分解を教える）という議論があるが、疑問点が残る。

(2) 「17 中学校学習指導要領解説」「18 高等学校学習指導要領解説」等から

全体の要点●

学習指導要領第一章第一節の、「カリキュラム・マネジメント」の実現に関する部分において、「子ども一人一人の発達をどのように支援するか」という項目が設けられている。

ポイント1) 2改訂の基本方針 (3) 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進 では、グループ等で対話する場面をどこに設定するか、生徒が考える場面と教師が教える場面をどのように組み立てていくかということが指摘されている。

2) 生徒が学習や人生において「見方・考え方」を自在に働かせることができるようにすることにこそ、教師の専門性が発揮されることが求められる。

(3) その他のネット資料から長所・短所

全体の要点●

他者と協同で学習することは、より多くの情報を入手し理解を深めるという事の他、学習意欲（動機づけ）などにも関係してくる。

ポイント1) 「他者と協同して問題を解決する学習活動」の利点として、様々な考えや意見、多様な情報を入手することで、そのあとの学習活動を推進していく上で重要な要素となることが指摘されている。

2) 教師の受容的・共感的態度が子どもの学習適応（教師との関係、級友との関係、学習意欲）に好ましい影響を及ぼす。

3) 学習意欲を支えている要素として、「有能感」「自己決定感」「他者受容感」の3つがあり、特に「他者受容感」は3つの要素の中で最も基礎的な部分を占める。この「他者受容感」は「自分は周りの人から受容されている（受け入れられている?）」という感覚、自分が回りからサポートされているという感覚」である。

4) 上記項目3より、学習意欲は他者との関わりの中から生じ、他者によって支えられているという特徴がある（※すべてがそうではない）

(4) 自分の意見

全体の要点●

① 数式は $v=ax^2+bx+c$ でも $v = ax^2 + bx + c$ でも よい ②タイトル・ファイル名・メールアドレス

ポイント1)グループで教え合いをする事は、そもそも他人から知識を受け取るだけでなく、自分自身の「わかったつもり」を発見することができる貴重な機会である。

2)近年では、「授業をしない学習塾」がある。入試対策においてはカバーすることができるかもしれないが、その後大学入学後に専門の勉強をする際必要となるような深い知識や考察、理解を得るには不十分と思われる。

(5) 出典(文献名、url 等)

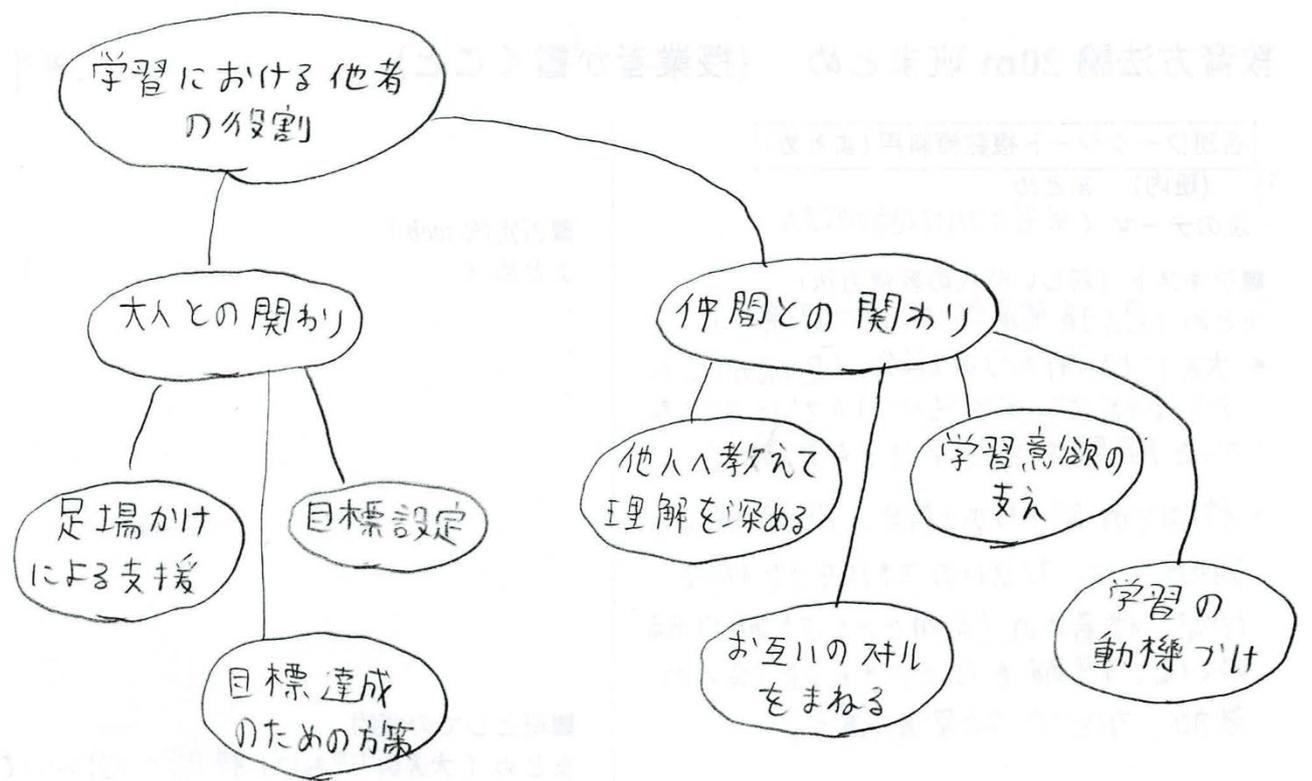
(1) 文部科学省(2018). 「高等学校学習指導要領解説」. pp.1-5.

(2) 鹿児島県総合教育センター 「『他者と協同して問題を解決する学習活動』や、『言語により分析し、まとめたり表現したりするなどの学習活動』を新たに規定したねらいは何か。」

<http://www.edu.pref.kagoshima.jp/research/research/project/jh/sougou/pdf/c-sougou6.pdf>

(3) 真田 穰人, 浅川 潔司, 佐々木 聡, 貴村 亮太 「児童の学習意欲の形成に関する学校心理学的研究 ―学習規律と学級適応感との関連について―」

<http://repository.hyogo-u.ac.jp/dspace/bitstream/10132/15352/1/AA114330270150003.pdf>



ICT活用例

ICT 活用例

3 班 番号

1. 単 元

音楽

2. テーマ

3. ICT 活用のねらい

- ・実際に見る・聴くといった内容と ICT を活用する内容を学習のねらいに応じて教師が見極め適切かつ効果的に活用すること。
- ・ポートフォリア(書類入れやファイルを意味)として活用すること
- ・

4. ICT 活用例

学習内容	指導過程・学習活動	指導上の留意点
ICT 活用の場面 (音楽)	ICT 活用の手順 ○自分の演奏を ICT を活用して記録する。 ・それを聴いたり、見たりすることにより音楽表現を工夫していく。 ○ソフトウェアによる音の可視化 ・サウンドスペクトログラムによる音の可視化をする ○お手本の歌い方と自分たちの歌い方を音声画面で比較する ・音楽表現が工夫できるようになる ○サウンドスペクトログラム ・横軸に時間、縦軸に周波数を取って角周波数成分の強さが濃淡で表されるもの。 ○リズムカードを並び替えて、反復や変化などを工夫して音楽を作る ・PC で音を確かめながら試行錯誤していく ○グループごとに、分割された観賞曲の音源を聞きながら、正しい演奏を考え、音源を並び替える。 ・作曲者が工夫した音楽のよさを感じ取る。	○全体的に使うソフトウェアの説明が必要なので機械をきちんと扱える人じゃないと難しい。
備考	使用教科書 「・・・」(〇〇社) 準備物 …… 授業形態と工夫 ……	

5. 出典・参考等

- ・各教科等の指導における ICT の効果的な活用に関する解説動画
○音楽、図画工作、美術、工芸、書道の指導における ICT の活用について
https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/mext_00941.html

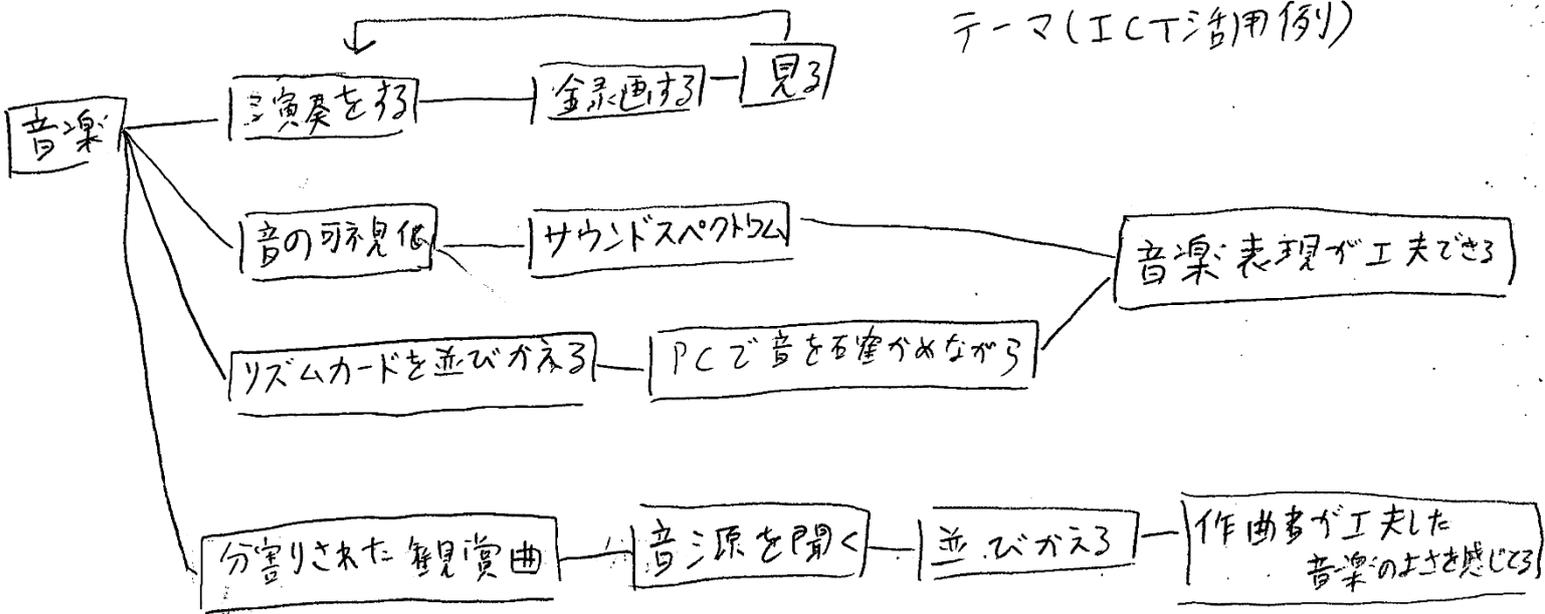
ICT 活用例

3 班 番号

・ サウンドスペクトログラムとは-コトバンク

<https://kotobank.jp/word/%E3%82%B5%E3%82%A6%E3%83%B3%E3%83%89%E3%82%B9%E3%83%9A%E3%82%AF%E3%83%88%E3%83%AD%E3%82%B0%E3%83%A9%E3%83%A0-1323367>

テーマ(ICT活用事例)



ICT活用例

ICT 活用例

班 番号 名前

1. 単 元

物理

2. テーマ

等加速度直線運動や運動エネルギーについて理解する

3. ICT 活用のねらい

- ・速度計を用いることにより公式が成り立っているのを確認する
- ・紙の上だけでなく目で見て理解する
- ・

4. ICT 活用例

学習内容	指導過程・学習活動	指導上の留意点
ICT 活用の場面 (等加速度直線運動の時、振り子の時)	ICT 活用の手順 ○まず紙の上で等加速度直線運動や、運動エネルギー、位置エネルギーについて理解する。 ・ここが分かっていないと実験を行っても意味が薄い ○実験はまず、傾斜のない平らなところで球をはじいて速度を計測する 次に角度を付けて同じように球をはじく、加速度が正になるようにある程度急にするといい 運動エネルギーと位置エネルギーが保存しているのを確かめるために振り子を用いて実験を行う ○上記で行った実験の結果を計算して公式が成り立っていることを確認する イメージ図など	○速度計は2つ用意する ○球と球を転がすレールの間の摩擦係数は予め計っておく ○
備考	使用教科書 「・・・」(○○社) 準備物 …… 授業形態と工夫 ……	

5. 出典・参考等

- ・
- ・
- ・

積極的反応の原理

↳ スロ-ステップの原理

学習 - フロ-プログラム学習 - 自己ペースの原理
- 発見学習

有意義受容学習 ← 教師の説明が中心

仲間

大人

↓
足場かけの
支援

↓
目標の設定

↓
動機付け

↓
模倣による
学習

確認問題08

確認問題 08

(1) 学校の時間割にみられる「アセンブリラインとしての時間」の特徴を3つ挙げよ。

- ・ 一方向性・連続性
- ・ 均質性
- ・ 細切れの分断

(2) 次の勝田守一の「実践記録をどう評価するか」に関する文章の空欄を埋めよ。

そこでは、第1には、「実践記録」とは教師の生活綴方、生活記録であり、(教育実践)を中核にして、そこにぶつかる問題や矛盾やそれへの(克服)の営みをすべて含み、さらに人間としての教師の(生活感)を反映するものでなくてはならないとした。第2に、その表現形態としては、記録であるかぎり、「強調と(省略)」があり、それゆえの「(女性性)」をもつ。しかし、それは文学ではなく実践の(事実)の記録であり、より本質的には「実践記録」は主体的感性的な認識を(理論的)に抽象化するものではなく、(形象化)することを通して真実を語ろうとするものであると指摘した。そして、第3には、仲間の中かで「実践記録」から(共通)の値打ちが掘り起こされ、共有(財財)(一般化)となることがめざされる、とした。

(3) 全員参加の授業5原則について、簡潔に説明せよ。

- ・ 様々な反応をこらえる
- ・ 空白の時間をつくらない
- ・ 待つ
- ・ 教室全体を見る
- ・ 学習形態を工夫する

(4) 「最近接発達領域」「学校スタイルとしてのオープンスクール」「(教育的)鑑識眼」のうち1つについて簡潔に説明せよ。

対象の性格や質を識別する行為のこと。

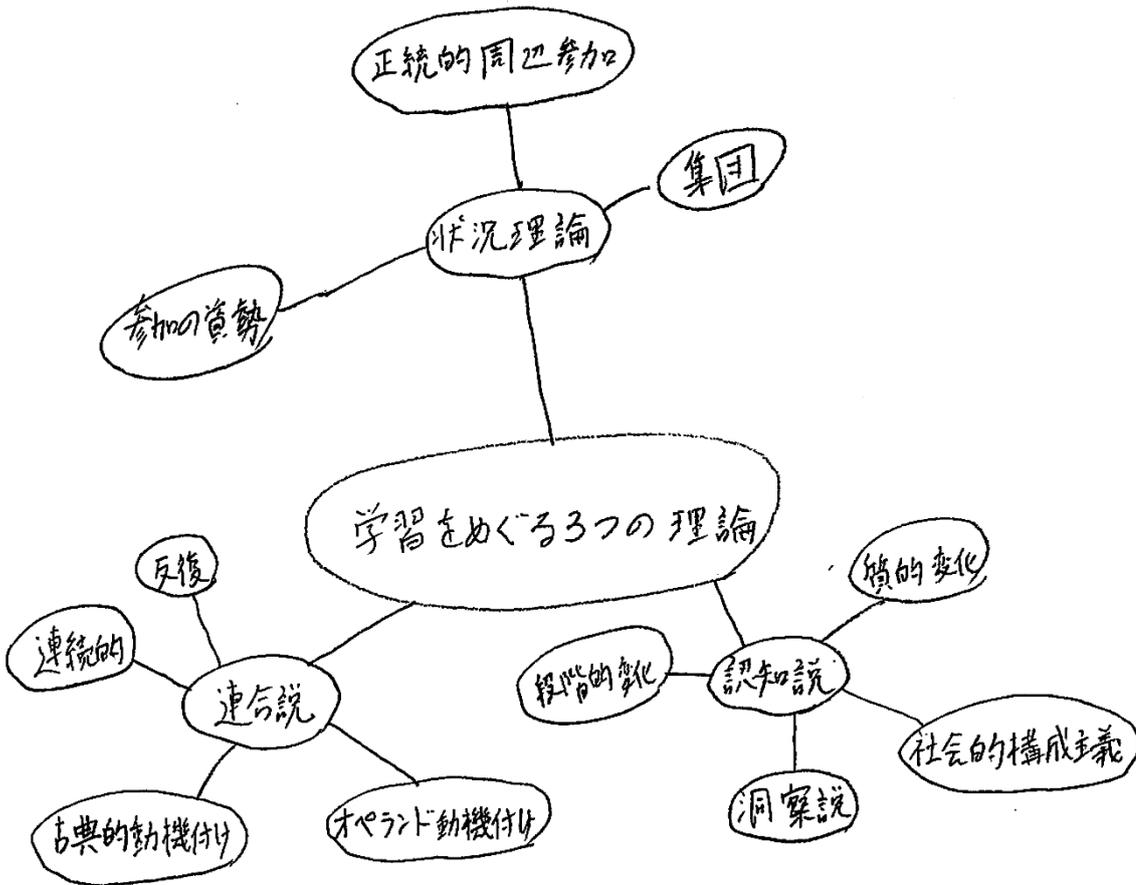
「鑑識眼」

** 確認問題 02 を自己評価し、
気づいたこと、感じたことをのべよ

■ 5段階自己評価 ()

■

実践記録について、どう生きるに生きた体験を抽象化せずに記録に残し、記録と比較して必要な要素を抜きとることであると理解した。



多田 5